

大阪・サンパウロ姉妹都市提携 40 周年記念事業 報告書

大阪・サンパウロ姉妹都市協会

2010 年 3 月

大阪・サンパウロ姉妹都市提携 40 周年記念事業報告書

大阪・サンパウロ姉妹都市協会

サンパウロ市とは、1969年（昭和44年）10月27日に姉妹都市提携を行い、以来、経済・文化・スポーツ・学術交流など多様な分野において活発な交流を進めてきた。本年度は姉妹都市提携40周年の記念の年にあたるため、両市の交流事業のさらなる活性化を図るため、代表団の相互訪問、[市民交流事業からなる40周年記念事業を行った。

【大阪における主な行事】

カサビ サンパウロ市長一行の来阪

日程：5月14日（木）～16日（土）

大阪市とブラジル サンパウロ市との姉妹都市提携40周年を記念して、サンパウロ市長一行が5月14日から16日かけて大阪市を訪問した。一行は、15日に平松市長を表敬訪問し、両市長は、今後さらに姉妹都市関係を深めていくために「40周年記念共同宣言」に調印。平松市長はこの宣言を「両市の友好・相互理解の一層の進展に大きく資するものと考えている」として、新しい時代に対応した新たな交流・協力関係の構築への期待を述べた。

カサビ市長一行は、北斎場の視察や交通分野、上海万博への取組みなどについて大阪市側との意見交換を実施したほか、市役所本庁舎1階での「提携40周年記念 サンパウロ写真展」のオープニングセレモニーにも出席。9月に大阪市民交流団が訪伯しレプリカを寄贈する予定の「みおつくしの鐘」の視察も行った。

5月15日（金）には、大阪・サンパウロ姉妹都市協会主催の昼食会（於：オ・セイリュウ）にや、大阪市公館におけるカサビ市長ご一行を歓迎するレセプション（主催：大阪・サンパウロ姉妹都市協会、大阪市）に出席。レセプションでは、平松大阪市長、カサビ市長の双方がスピーチを行い、40年の歴史がある両市の友好関係をさらに未来につなげていくために、国際交流・国際協力など関係を深めていくことを確認しあった。大阪・サンパウロ姉妹都市協会の会員をはじめとして関西の経済関係者等が集い、サンパウロ一行との会話も弾み、友好親善を深めた。



40周年記念共同宣言に署名して握手する両市長



「みおつくしの鐘」を視察するカサビ市長



意見交換会では熱心な議論が行われました。



歓迎レセプションではカサビ市長の名前の入ったセレッソ大阪のユニフォームが平松市長から手渡されました

サンパウロ写真展の開催

日程：5月15日（金）～22日（金）、6月6日（土）～10日（水）

会場：市役所1階玄関ホール（5月）、大阪市公館（6月）

姉妹都市提携40周年を記念し、サンパウロ市を紹介する写真展を開催した。サッカーやサンバといった多くの方がイメージする側面だけでなく、経済や文化、自然など多様な魅力をもつサンパウロ市の現在を写真で紹介。5月15日のオープニングセレモニーにはカサビ市長一行も出席された。



オープニングセレモニーでのテープカット

「平和と歌の交流史～戦争の世紀をのり越えて～」の開催

期間：2009年6月1日（月）～12日（金）

場所：大阪市役所1階市民ロビー

大阪・サンパウロ姉妹都市提携40周年記念事業として大阪国際平和センター（ピースおおさか）が開催。1908年に正式移民が始まってから一世紀を超える歴史をもつブラジル日系人社会の戦前・戦後についてシンポジウムと歌で検証することで、戦争の無意味さと平和の尊さについて考えた。

同イベントは大阪国際平和センター理事のもず唱平さんをナビゲーターとして2部構成で開催。第1部のシンポジウムにはパネラーとして大



シンポジウムの様子

阪・サンパウロ姉妹都市協会の吉川会長が参加されたほか、「歌は平和の架け橋」と題した第2部には、ブラジルとかかわりの深い活動を展開されている成世昌平さんが歌のステージを披露した。



成世昌平さんのステージ

【サンパウロにおける主な記念事業】

大阪市代表団がサンパウロ市を訪問

日時：9月1日（火）～10日（木）

今回のサンパウロ市訪問は、本市とサンパウロ市との姉妹都市提携40周年を記念し、これまでの交流の歴史を礎に、より市民が中心となった友好親善・連携強化をめざして、公式代表団と市民交流団で構成される大阪市代表団が9月上旬に実施した。

40周年記念式典では、サンパウロ市との交流活動を展開する市民団体“大阪・サンパウロ姉妹都市協会”が、同市の青少年の健全育成を祈念し製作した「みおつくしの鐘」のレプリカ（「愛の鐘」）を贈呈するなど、両都市・両市民の友好関係の深化を図った。また、日系人が多く在住する同市には、故郷への想いを日本の歌に重ねあわせられる方が多数おられることから、ブラジルとの関わりの深い活動を展開する歌手の成世昌平さんを“大阪市音楽親善大使”として委嘱し、歌を通じた多彩な文化・市民間交流を展開した。

さらに、大阪のイメージアップ・誘客に向け、集客力のあるイベントに参加し大阪PRを行ったほか、同市が近年目覚ましい経済成長を遂げるブラジル連邦共和国の経済の中心地であることから、当地の経済団体を訪問し、投資・進出・ビジネスパートナーとしての大阪の魅力をアピールし、両市のさらなる経済交流の促進と大阪への企業誘致・投資促進を働きかける契機とした。



サンパウロ市役所で開催された40周年記念式典で大阪・サンパウロ姉妹都市協会から寄贈された「みおつくしの鐘」のレプリカ（愛の鐘）の初鳴らしを行うサンパウロ市アルダ副市長。



成世昌平大阪市音楽親善大使のステージ。各地で日系人をはじめとする多くの方が参加し、民謡や演歌など、音楽を通じて遠い日本に思いをはせました。

【大阪市代表团】

<公式代表团>

团长：岡田茂男

(大阪・サンパウロ姉妹都市協会副会長)

顧問：木下吉信

(大阪市会議員 平成 19 年度大阪市会議員 海外視察团团長)

顧問：もず唱平 (市民交流团团長)

大阪市音楽親善大使： 成世昌平 (歌手)

大阪市：(政策企画室)

橋本都市外交担当部長

安井海外プロモーション担当課長代理

木下担当係長

<市民交流団>

团长 (もず唱平) ほか 20 名



東洋人街で開かれたリベルダーデフェスティバルで大阪をPR。大阪ブースの前に集まった大勢のサンパウロ市民の方に、リベルダーデ青年会の協力でPRグッズが配布されました。

※参考

大阪市代表团のサンパウロ市訪問について (報告)

<http://www.city.osaka.lg.jp/seisakukikakushitsu/page/0000043782.html>

(大阪市ホームページ)